

# 海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和5年10月3日

## 【観測結果（調査日：9月20、21、22日）】

9月20日に渥美外海、21日と22日に伊勢湾の観測を実施しました。

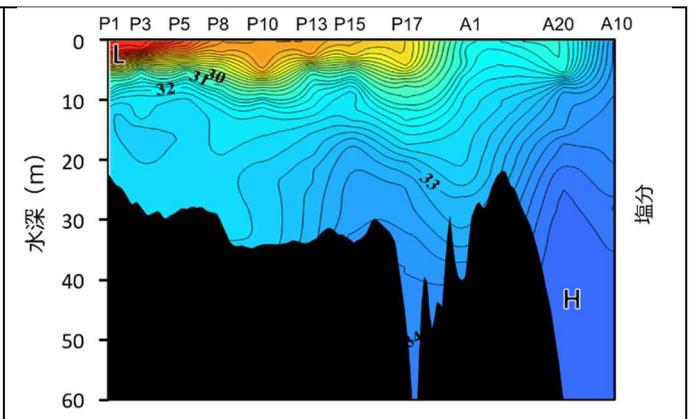
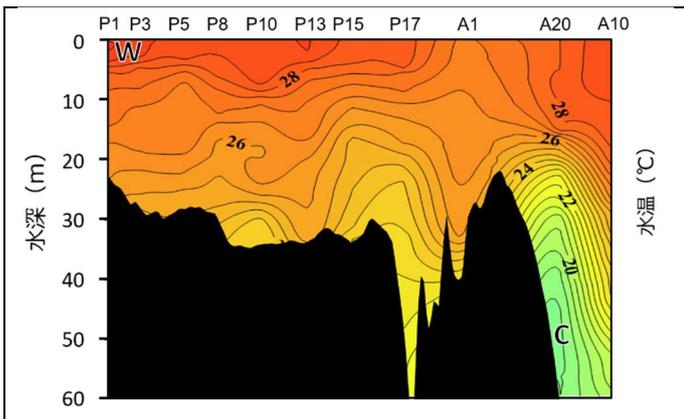
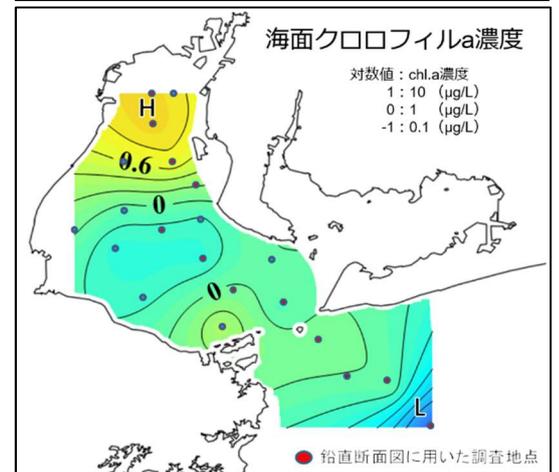
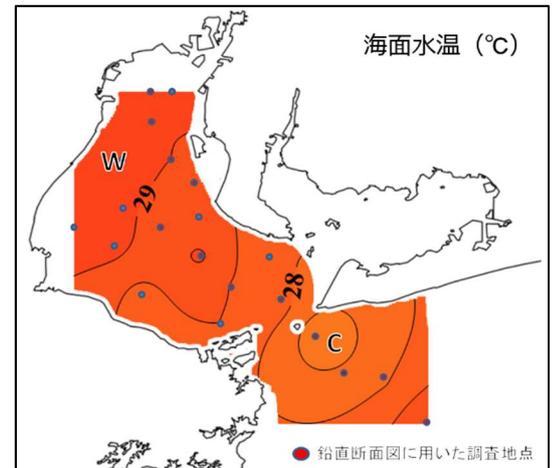
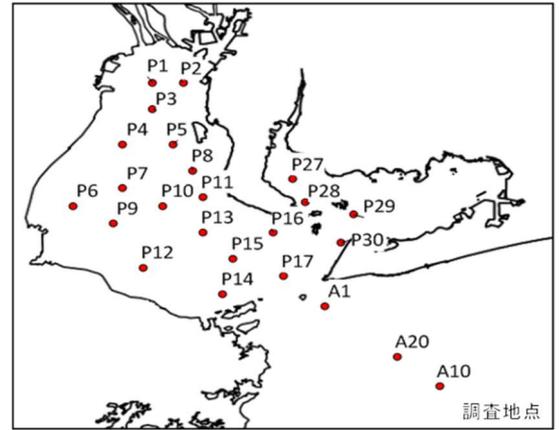
## 【水平分布（調査点：P1～A10）】

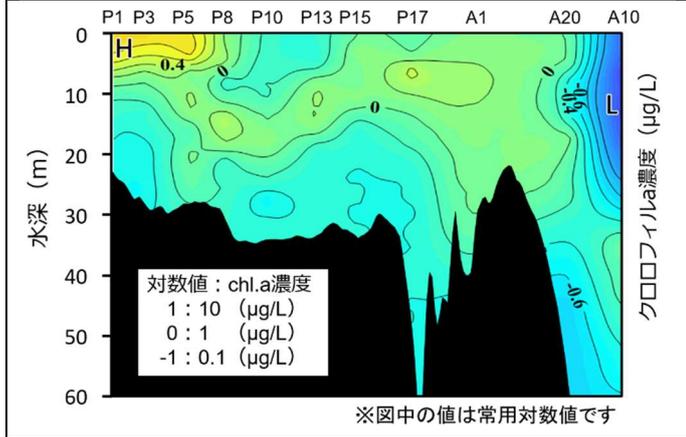
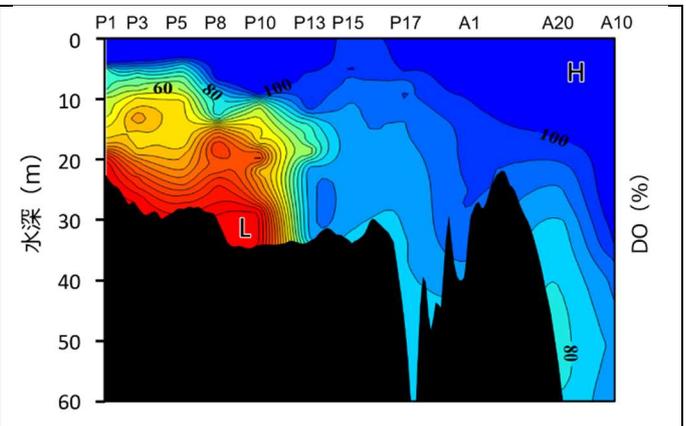
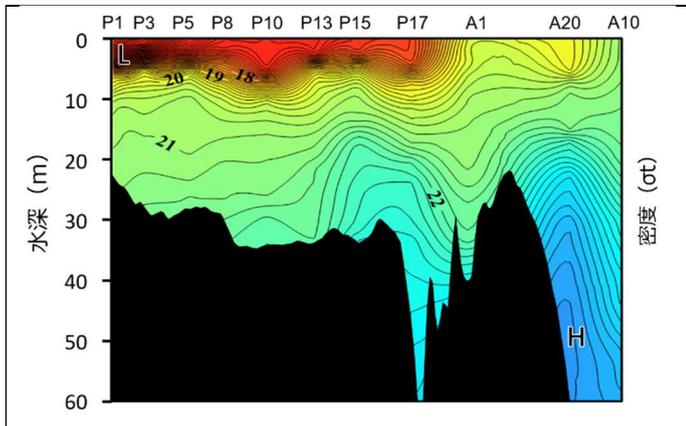
日射の影響により、伊勢湾の表層は高水温に覆われています。一方で、伊勢湾湾口域は潮汐による攪乱によって、表層水温が周囲よりも低くなっています。クロロフィル a 濃度は陸域からの負荷が大きい湾奥部で最も高くなっており、黒潮系の暖水が波及している渥美外海の濃度が最も低くなっています。

## 【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾では日射および河川水の影響で高水温・低塩分の軽い水塊が表層を覆い、成層が発達して鉛直混合が妨げられています。湾奥を中心に水深 20m 以深に貧酸素水塊（溶存酸素飽和濃度 30%以下）が分布していますが、湾央（P13～P15）の底層は外海で湧昇した高密度水が湾央（P13）まで進入することによって貧酸素水塊が解消しています。

渥美外海では、湧昇によって底層から低水温かつ栄養に富んだ水が表層近くまで供給され、湾奥から A10 の水深 30m 以深までクロロフィル a 濃度が帯状に高くなっています。





※図中の値は常用対数値です